

世界遺産登録を契機に様々な産業・観光戦略を——大阪府堺市の挑戦

2019年7月6日、アゼルバイジャンのバクーで開催されたユネスコの世界遺産委員会で、大阪府堺市に位置する「百舌鳥古墳群」と、羽曳野市、藤井寺市に位置する「古市古墳群」の『百舌鳥・古市古墳群』が、世界遺産へ登録決定となった。大阪府初の世界遺産登録である。府と3市は喜びに沸き、世界遺産登録を地域活性化へとつなげていくことに、勢いづいている。

世界遺産に登録された『百舌鳥・古市古墳群』（北東の上空から見た百舌鳥古墳群）



出所：堺市

古市古墳群から出土した埴輪

(右・水鳥形埴輪集合 左・衣蓋(きぬがさ)形埴輪 とともに津堂城山古墳出土)



出所：藤井寺市

今回はその中でも、日本及び世界最大級の「仁徳天皇陵古墳」がある堺市についてレポートしたい。

歴史と文化が息づく都市・堺

大阪府堺市の歴史は、旧石器時代（紀元 14000 年頃）に始まる。古墳時代（3 世紀～6 世紀頃）を経て、鎌倉時代（12 世紀頃～13 世紀頃）には、港町として発達した。

その後、戦国時代（14 世紀頃～15 世紀頃）には明をはじめ海外貿易を行い、西日本の海運拠点として国内外より多くの商人が集まる国際貿易都市へと発展していった。

16 世紀には、ヨーロッパから「日本のベニス」と呼ばれ、商業都市として、その名を轟かせていた。

堺の地名の由来は、摂津・河内・和泉の 3 国の「境」に位置している事からこう呼ばれるようになったという。大阪市の南に位置し、2019 年 8 月現在、人口約 83 万人、面積約 150 k m²を有する大阪府内で人口・面積ともに第 2 の都市である。

日本の茶の湯のわび茶を大成させた千利休や近代文学を代表する歌人・与謝野晶子を生んだ都市である。彼らの功績を振り返る文化観光施設には、「さかい利晶の杜」がある。また、刃物・線香・自転車などの伝統産業や由緒ある数多くの寺社など豊富な地域資源に恵まれた地域である。

「さかい利晶の杜」の茶室



出所：筆者撮影

「さかい利晶の杜」の与謝野晶子の原書

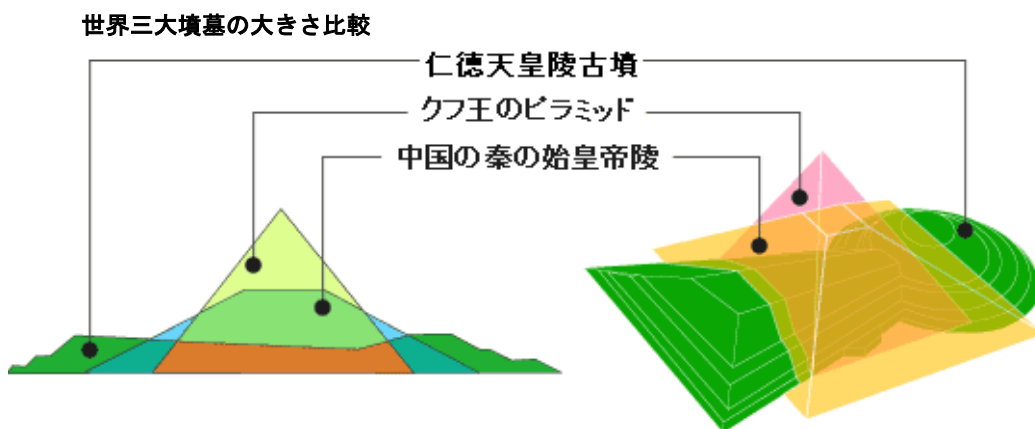


出所：筆者撮影

世界最大級の仁徳天皇陵古墳がある堺市

さて、堺市の「仁徳天皇陵古墳（大仙陵古墳）」は、ビルや住宅がひしめく市街地にある。鍵穴形をなす巨大な前方後円墳である。墳丘長は 486m に及び、約 16 万基の古墳を有する日本の中でも最長である。また、世界三大墳墓と言われている中国「秦の始皇帝陵」が一辺 350m、エジプトの「クフ王のピラミッド」が一辺 230m なのでまさに世界最大級であると

言えよう。



出所：堺市公式ホームページ <https://www.city.sakai.lg.jp/kanko/rekishi/sei/sandaifunbo.html>

仁徳天皇陵古墳を中心に、周辺には現存する大小 44 基の古墳が密集して「百舌鳥古墳群」を構成している。堺市の東側にある藤井寺市から羽曳野市にかけては、日本で 2 番目に大きい応神天皇陵古墳（菅田御廟山古墳）を含む「古市古墳群」がある。

仁徳天皇陵古墳が築造されたのは 5 世紀中頃と推測され、宮内庁が第 16 代仁徳天皇の陵墓として管理している。3 重の濠に取り囲まれ、全長 840m、1 周約 2.8km もある広大さだ。

世界最大級の仁徳天皇陵古墳（大仙古墳）



出所：堺市

近隣で仁徳天皇陵古墳の全体像を把握したいのであれば、堺市市役所 21 階の展望ロビーに上るといいだろう。地上 80m の市役所最上階で、360 度の展望が楽しめる回廊式ロビーである。

堺市役所展望ロビーからの眺望



出所：筆者撮影

世界遺産の古墳の魅力をPRする「ハニワ部長」

その堺市役所に世界遺産の魅力を伝えるべく「ハニワ部長・CH0 (Chief Haniwa Officer)」なる自称・1600 歳のキャラクターが存在する。

2014 年に「ハニワ課長」として誕生した。その時は、古墳など関係のない別の事業のPRをしていたという。インターネットの記事でハニワ課長の名前は出たものの、メインの扱いを受けることはなかった。その後、約 1 年間放置されていたが、2016 年にテレビ番組にその存在が取り上げられ、再度本格的なPR活動のキャラクターとしてスタートさせた。

そして、これまでの「百舌鳥・古市古墳群」をPRしてきた功績を認められ、8 月 28 日（ハニワの日）に、堺市長・永藤英機氏から辞令を交付され、課長から部長に昇進したのである。

さて、世界遺産登録が決まって一番顕著に数値として現れたのは、堺市博物館の来訪者数だという。2018 年 7 月に月間 8,700 人だったが、登録が決まってからは 3 万人に激増した。

堺市博物館は、百舌鳥古墳群のほぼ中心にある大仙公園内にあり、堺市の歴史、美術、

考古、民俗に関する博物館として、様々な資料を収集、保存、展示している。

筆者も博物館へ訪問させていただいた。もちろん豊富な埴輪や土器などの歴史的遺産を鑑賞して充分堪能することができるが、博物館のロビーに設置された「百舌鳥古墳群シアター」では、約 200 インチの大型スクリーンで、百舌鳥古墳群の CG 映像を鑑賞できる。

また、ヘッドマウントディスプレイを着用し、VR で「仁徳天皇陵古墳ツアー」の擬似体験もできる。地上から上空 300m まで上昇し、百舌鳥古墳群の全景を 360 度映像で鑑賞できるのは圧巻である。

新たな手法で世界遺産の魅力を PR している堺市。「ハニワ部長」も PR コンテンツとして大いに魅力的である。ちなみにハニワ部長のキャラクターは、2019 年に堺市が商標登録した。そのキャラクターを使って、今後堺市の産業界がグッズ販売などに活用して、経済が潤っていく域内善循環を目標に据える。また、ハニワ部長に昇進する際、自身に課したノルマとして「今後 1 年間で、Facebook では現状の 4 倍である『2 万いいね!』の獲得と、民間企業と 20 種類のグッズ化」を宣言した。それに対し堺市長から、達成すれば局長にすることを検討するが、できなければ降格という指摘も受けた。

筆者の取材に対応してくれたハニワ部長



出所：筆者撮影

また古墳によって育まれた鉄の文化が、あるものは包丁になり、あるものは自転車になり、

コンビナートへと至っていった歴史が堺市にはある。そこで臨海工業地帯と繋がっていけば堺市という土地の魅力がより活かされていくかもしれない。

そして古墳好きな人たちのために、日本全国の古墳の魅力を発信し、拠点を旅行してもらうプラットフォームづくりも、堺市に世界遺産の古墳群があるからこそ出来るだろう。

ハニワ部長のグッズが、新たな堺市のお土産となる日も近い。インターネットを活用すれば全世界に発信できる。今後もハニワ部長の活躍に大いに期待したい。

<参考資料>

堺市公式ホームページ

<https://www.city.sakai.lg.jp/aboutweb/index.html>

さかい利晶の杜

<http://www.sakai-rishonomori.com/>

堺観光ガイド

<https://www.sakai-tcb.or.jp/>

堺市博物館

<https://www.city.sakai.lg.jp/kanko/hakubutsukan/>

ハニワ部長 CHO (Chief Haniwa Officer)

<https://www.city.sakai.lg.jp/shisei/koho/citypromo/haniwa/index.html>

堺市 ハニワ部長・CHO

<https://www.facebook.com/haniwakacho>

ハニワ課長 LINE スタンプ

<https://store.line.me/stickershop/product/1223589>

『特別展 百舌鳥古墳群－巨大墓の時代』(堺市博物館 2019)

『堺を歩けば。』(「堺を歩けば。」制作委員会 2017)

『ザ・古墳群～百舌鳥と古市 全89基』(「ザ・古墳群」制作委員会 2018)

(2019年9月18日確認。)

文 奥山 睦 (Mutsumi Okuyama)
株式会社ウイル 代表取締役